

令和4年度阿倍野区区政会議 安全・安心部会における
令和5年度施策・方針に向けた主な意見等

令和5年度に向けていただきたい意見

各地で発生する地震などへの関心の高まりを、実際に災害に備える具体的な取り組みや備蓄物資調達などの行動につなげることができる効果的な手法や考え方について

第1回部会（令和4年8月23日開催）における委員からのご意見等

○マンション住民の防災意識向上について

- ・戸建てだけではなくマンションに対しての災害対策も進められるということがありがたい。マンション住人の「自分たちは大丈夫」という安心感のような意識があり、避難訓練などへの参加も少ないという点が課題ではないかと思う。

○災害対応を担う若年層の育成について

- ・地域防災リーダーの8割以上の方が高齢であり、災害時に高層マンションでエレベーターが止まった時に物資を運べそうな地域防災リーダーが少ないので、防災ジュニアリーダーの育成や意識の向上が災害時には必ず力になる。防災ジュニアリーダーの登録までが難しく、登録してもらえるよう中学校へ周知するなど、力を入れてほしい。
- ・防災リーダーの高齢化が問題だということではなく、共助の場合の役割分担として、中学生や高校生のジュニアリーダーの役割が、重要であり、ジュニアリーダーの育成は共助の役割分担としてもっと意識を高めてほしい。

○防災リーダーの組織強化などについて

- ・昼間の災害であれば実際に動ける在宅者が少ない。防災リーダーが高齢化しないように定年制も必要だが、在宅のリーダーが必要と思うので、災害対策を知っている在宅の方を「防災スタッフ」として継続して活動してもらいたい。また、女性の登用を進めていきたい。

○いろいろな媒体を活用した情報の発信について

- ・我が家の防災プラン navi を実際に家族でやってみたり、1週間分の食料備蓄にも取り組んだが必要なものをそろえるのに1か月もかかった。防犯も防災も当事者意識が上がらないと次の行動につながっていかないと思う。当事者意識の向上は、いろんな方法で情報発信し、「あなたは当事者ですよ」と巻き込んでいくと町全体が活性化すると思う。粘り強く阿倍野区の実践を広い世代に認知してもらおうよう取り組んでいただきたい。

令和5年度に向けていただきたい意見

防犯や交通安全に対する意識及び理解の向上につながる新たな発信方法などについて

第1回部会（令和4年8月23日開催）における委員からのご意見等

○安まちメールの推進について

- ・安まちメールでは、特殊詐欺被害が多く配信されているが、交通安全についてのメール配信がない。ながら運転を見ない日はなく、もっと交通安全について配信をお願いする。各地域や、保護者に安まちメールの推進を図れば、モラルも向上するのではないか。春秋の交通安全、防犯活動等も実施しており、ぜひ警察官、区役所の方には、地域に来て、ねぎらいの言葉もかけていただければ、地域の励みにつながる。

○自転車マナーについて

- ・「ながらスマホを止めよう」といったのぼりを作成し、区役所や阿倍野警察署、区内の交番などに掲げ、交通マナー、ルールの向上や、防犯カメラを横断歩道に向け、スピーカーを使い、遠隔操作にて、直接注意を促すなどできれば自転車の信号無視撲滅につながる。

○その他

- ・『建設途上の建物への不法侵入の件』
丸山地区の特養建設がとん挫したままの場所での子どもたちの不法侵入の件は、阿倍野警察署のご尽力があったと思うが、すっかり静かになり夏休みまでに解決している。